

アンナ・ネトレブコ

スペシャル・コンサート in JAPAN 2017

ANNA NETREBKO and YUSIF EYVAZOV

2017年

9/28 (木) 19:00

Thursday, September 28, 2017 at 7 p.m.

10/3 (火) 19:00

Tuesday, October 3, 2017 at 7 p.m.

東京オペラシティ コンサートホール

Tokyo Opera City Concert Hall

ソプラノ: アンナ・ネトレブコ
Anna Netrebko, Soprano

テノール: ユシフ・エイヴァゾフ
Yusif Eyvazov, Tenor

指揮: ミハイル・タタルニコフ
Mikhail Tatarnikov, Conductor

オーケストラ: 東京フィルハーモニー交響楽団
Tokyo Philharmonic Orchestra

ゲスト: エルチン・アジゾフ (バリトン)
Elchin Azizov, Baritone

ヴェルディ: オペラ「マクベス」から 勝利の日に～来たれ、急いで
Verdi: Nel di della vittoria...Ambizioso spirito...Vieni, t'affrettati! from "Macbeth"

ヴェルディ: オペラ「アイダ」から 勝ちて帰れ
Verdi: Ritorna vincitor! from "Aida"

ドヴォルザーク: オペラ「ルサルカ」から 月に寄せる歌
Dvořák: Měsíčku na nebi hlubokém from "Rusalka"

レハール: オペレッタ「メリー・ウィドウ」から 唇は語らずとも(二重唱)
Léhar: Lippen schweigen from "Die lustige Witwe"

ほか

曲目は変更となる場合がございます。その他の詳細は後日、KAJIMOTOのウェブページ等で発表いたします。

S¥38,000 A¥32,000 B¥26,000 C¥18,000 D¥12,000 学生¥5,000



United
PROMOTERS

©Vladimir Shirokov



現代最高のプリマ、再び!

昨年(2019年)の3月、待望していた^{デビュー}歌姫が11年ぶりに日本で開いたコンサートのことは、数年は忘れられそうにない。アンナ・ネトレブコから発せられた第一声は、特有のくぐもった声質ながら、微細な弱音なのに、モーゼが海を両断したごとく空を切り、ホール隅々までくっきりと届く。そして何よりもそこには熱い魂が強い美をもって息づき、聴く私たちの心をゆさぶり、全身を震わせる。これが凡百の歌手とネトレブコを隔てるものであり、同時にこれまでの歴史的プリマ……カラスやテバルディ、カバリエやフレニ、グルベローヴァらと通じる「何か」だ。このとき歌ったチレア、ヴェルディ、プッチーニ、ジョルダノらのアリアや二重唱は、ことごとくこれらのオペラ全幕を彼女の主演で観てみたい、と思わせた。また一方では、その数分だけでオペラ全体をすべて観てしまったかのような気にさせた。稀有なことである。

また「トロヴァトーレ」でのレオノーラのアリアに見られたように、その声には美しさはもちろん、年月をかけて周到に獲得したドラマティックな豊麗とともに、上の音域から下の音域まで細かく疾駆するパッセージを曖昧にせず完璧に歌いきるという離れ業を両立しているあたり、ネトレブコが現在に至るまで厳しいトレーニングを怠らない努力家であるところが垣間見える。それにしても「フィガロの結婚」で才気煥発、可憐なズガンナを歌っていた若いソプラノがルチアやヴィオレッタを経て、今や「ローエングリン」のエルザ(ドレスデンでの大きな挑戦!)まで歌う大プリマに……。つい先日のザルツブルク音楽祭における「アイダ」(ムーティ指揮ウィーン・フィル)タイトルロール初挑戦の大成功も伝えられている。

そう、彼女の夫君エイヴァゾフにも触れておく必要があるだろう。荒削りながら野太くも輝かしい最高音に向けてひた走るこのテノールとネトレブコのデュエットも聴きものだ。

時代のトップをぎらめき駆け抜け、真実のドラマを現出させる現代最高の歌姫が再びやって来る。

(A)

アンナ・ネトレブコ(ソプラノ) Anna Netrebko, Soprano



ロシア生。サンクトペテルブルク音楽院で声楽を学ぶ。2002年、ザルツブルク音楽祭で《ドン・ジョヴァンニ》ドンナ・アンナを歌い大成功を収めてより、メトロポリタン歌劇場、スカラ座、ウィーン国立歌劇場、パリ・オペラ座など世界中の主要歌劇場で常に主役を務め、クラシック歌手として今日もっとも世界に知られ、絶賛される存在。

2007年にはクラシックの音楽家として初めて「タイム」誌が選ぶ「世界で最も影響力のある100人」に選ばれた。「とにかくすべてを兼ね備えた歌手——驚くほど純度の高い声、正確な歌唱、知的アプローチ、豊かな声量と多彩な声色、想像力、内面性、そして機知——そのすべてが眩いカリスマ性と相まって、演じるネトレブコから目を離すことができない」(サンフランシスコクロニクル紙)

ユシフ・エイヴァゾフ(テノール) Yusif Eyvazov, Tenor

アゼルバイジャン生。チャイコフスキー音楽院で学び、イタリアに留学。テノールのフランコ・コレリ、ソプラノのゲーナ・ディミトローヴァに師事。《マクベス》マクダフ、《トスカ》カヴァラドッシ、《カルメン》ドン・ホセ、《アンドレア・シェニエ》のタイトルロール等を歌い、最近ではヴェルディ響と共演。ローマ歌劇場ではムーティ指揮で《マノン・レスコー》デ・グリユーをネトレブコと共に歌っている。2016/17年シーズンは、ポリショイ劇場《マノン・レスコー》を、また、バイエルン州立劇場《マクベス》、プラハ歌劇場で《アンドレア・シェニエ》、マリンスキー劇場《アドリアーナ・ルクヴルール》に出演するほか、演奏会も数多く、世界中での公演が決まっている。

東京フィルハーモニー交響楽団 Tokyo Philharmonic Orchestra



©上野隆文

1911年創立。日本のオーケストラとして最古の歴史をもち、メンバー約130名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督チョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・パッティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ。自主公演の他、新国立劇場他でのオペラ・バレエ演奏、NHK他における放送演奏など、高水準の演奏活動を展開。また、海外公演も積極的に行い、国内外から高い注目を集めている。

1989年からBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

公式ウェブサイト <http://www.tpo.or.jp/>

公式フェイスブック <https://www.facebook.com/TokyoPhilharmonic>

公式ツイッター <https://twitter.com/tpo1911>

ミハイル・タタルニコフ(指揮) Mikhail Tatarnikov, Conductor



サンクトペテルブルクのミハイロフスキー劇場(旧レニングラード国立歌劇場)音楽監督兼首席指揮者。2016年にマリンスキー劇場でデビューし、ミラノ・スカラ座、バイエルン州立歌劇場、アン・デア・ウィーン劇場、ベルリン・コーミッシェ・オーパーなどに

客演し、ネトレブコ、ホロストフスキー、オボライス、カブソン兄弟、レーピンらと共演。今後もベルリン州立歌劇場やバルセロナのリセウ大劇場などで指揮を予定しており、数多くのオペラやバレエ公演に関わっている。

チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

www.kajimotoeplus.com

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※オペレーター対応(10:00~18:00)

ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: 341-232)

e+(イープラス) <http://eplus.jp/>

CNプレイガイド 0570-08-9990

ローソンチケット 0570-000-407

東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999

twitter @kajimoto_News

facebook
YouTube YouTube

“kajimotomusic”で検索!

@kajimotomusic

便利なケータイサイトもぜひご利用ください。
iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応
チケットもご購入いただけます。

カジモト・イープラス



好評発売中!!

●お車でお越しのお客様は東京オペラシティビル駐車場駐車料金の1時間分割引制度がご利用いただけます。
●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。
●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。●団体料金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。